

基本方針				取組	実施時期															
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動【担当者】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	中期	長期		
1 子 ど も の S O S に 気 づ く 力 を 高 め ま す	子どもたちがSOSを出しやすい環境をつくります	相談することの大切さを子どもたちに伝える授業を行います	いじめを受けたり、いじめを発見したりした場合、および友達からいじめの相談を受けた場合に、家族、学校または関係機関に相談できる生徒	【SC】【生指】 集会等で、生徒を対象としたSCによる授業等を年1回実施する。				実施1年				実施2年		実施3年				継続	継続	
	子どもを深く理解する力を育てます	子どもに共感し、対等な関係を築く資質を養います	生徒の声を大切にし、言動の裏側にある思いをつかみ支援できる教職員	【SC】【研推】 SCによる年2回以上のカウンセリングマイナド研修を実施する。					実施					実施				継続	内容を検証の上で継続	
		発達に特性のある子どもへの理解と適切な支援を強化します	特別支援教育の知見に立って支援できる教職員	【特支】 毎学期1回、特別に配慮のいる生徒についての情報共有を実施する。	実施						実施				実施				継続 専門家による研修を検討	継続 専門家による研修を検討
		いじめの定義の確認と周知を徹底します	いじめの定義を正確に理解し、生徒、保護者および地域住民に啓発する教職員	【生徒会】【校長:全校集会・学校だより】 各学期に1回程度いじめについて全校集会等で話をする。また、地域や保護者へ取り組みの状況を発信する。	全校集会						全校集会				全校集会				継続	継続
		いじめ防止月間を設けます	主体的に全校でいじめ根絶に向けた活動に取り組む生徒	【生徒会】 生徒会を中心に良い人間関係をつくるための取組内容を検討し実施する。		生徒総会													生徒による提案を定着させる	生徒による提案を定着させる
		いじめを早期発見し、速やかに適切な対応をします	いじめをテーマにしたアンケートを行います	調査結果を基に生徒の思いを聞き取り、生徒の状況の把握に努め、いじめの早期発見、解決を図る教職員	【生指】 1学期は「こころとからだのアンケート」を実施し、2・3学期はいじめに特化したアンケートを実施する。			こころとからだのアンケート面談						いじめアンケート面談		いじめアンケート面談			継続	継続
		教職員がいじめについての情報を共有し、チームで対応する仕組みを整えます	校内いじめ防止委員会を中心に教職員全体で情報・指導方針を共有し、問題の解決を図る教職員	【生指】 校内いじめ防止委員会で初期対応するチームを設置する。 校内いじめ防止委員会を週1回の定例実施と事業検討として適宜実施する。	チーム設置 校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	継続	継続
		いじめ等に関する情報について保護者との連絡を迅速に行い、情報を共有します	事実内容、指導方針、支援等について適時適切に保護者に伝え、事案の解決を図る教職員	【生指】 校内いじめ防止委員会で共通理解を図る。	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	校内いじめ防止委員会	継続	継続

基本方針				取組	実施時期																	
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動【担当者】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	中期	長期				
2 子ども の主体 性を育 てま す	子どもの主 体性を育む 授業へ転換 します	主体的・対話的で深い 学びへ	学びの過程を大切に、生 徒の存在や意見が尊重され る授業づくりを推進する教 職員	【研推】 コミュニケーション能力を育成し、協働し て学び合う授業づくりをめざした校内研究 を実施する。			校内研					校内研		校内研				継続	継続			
	子どもが参 画する学校 づくりを行 います	学校行事は子ども主体 で行います	感動のある学校づくりを担 う一員として活動する中で 自己有用感をもち、自己肯 定感を高める生徒	【生徒会】【生指】 生徒会で行事の内容や校則の見直し等につ いて話し合い、生徒が学校運営に参画す る。	会議 対面式	会議 体育大会		会議		会議		会議 文化発表 会			会議	送る会		継続	継続			
	児童会・生 徒会を活性 化します	サミットで学校間交流 を図ります	各校での様々な取組みを参 考にして、自校に適した具 体的な取組みを模索、実施 する生徒	【生徒会】 市で行う児童会・生徒会サミットに参加 し、意見交換を行い、自校の取組みに活 かす。					サミット	サミット 結果を全 生徒に報 告									継続	継続		
	子どもへの エンパワメ ントを促進 します	自殺予防教育を行いま す	生涯を通じて心の危機に直 面した場合の対処スキルを 身に付けた生徒	【生指】 生徒を対象とした自殺予防につながる教育 プログラムの授業を実施し、成果と課題を つかむ。			授業 検証													継続	継続	
		いじめ防止教育につな がるゲストティー チャーの授業を行いま す	人権を守ることの重要性に ついて理解を深める生徒	【生徒支援】 弁護士、警察官、大学教授など人権に関す る講師による出前授業を生徒対象に実施す る。										授業							継続	継続
3 部活 動を改 革し ます	部活動のあ り方を見直 します	宝塚市部活動ガイドラ インの徹底を図ります	部活動の意義や目的を認識 し、より安全で充実を目指 した目標のもと生徒のいき いきとした姿を育む教職員	【部活動】 年度当初にガイドラインの内容について校 内で研修を行うとともに適宜生徒と顧問が ガイドラインの内容を確認する。 部全体の目標を定める。 保護者会等により、家庭との連携を進め る。	研修 確認 保護者会 (通年適宜)									確認						継続	継続	
		顧問は、部全体の目標 を踏まえ生徒一人ひと りに合った目標設定を 支援し、各生徒がその 目標を達成することを サポートする姿勢で部 活動指導に臨みます	一つの部活動内での閉鎖的 な取組ではなく常に全体 での情報共有、共通認識の もと部活動を運営する教職員	【部活動】 職員会や顧問会等を通して、生徒のサポ ートをふまえた部活動のあり方について教職 員の共通理解を図る。 部活動の問題を生徒指導委員会や学年会等 との連携を図り、情報を共有する。	顧問会 生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	顧問会 (顧問 会) 生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等	生徒指導 委員会等				継続	継続	
	生徒が主体 となった部 活動の運営 を行います	部活動の方向性、内容 を生徒と顧問が話し 合って決めます	部活動運営に主体的に取り 組む生徒とそれをサポート する教職員	【部活動】【生徒会】 各部長と教員が意見交換や学校全体の約束 などについて共通理解する場（部長会等） を設ける。	ミーテ ィング	部長会					部長会										継続	継続
		生徒一人ひとりの悩み や疑問を尊重します	生徒一人ひとりの意見交 換を大切にする教職員	【生指】 面談やアンケートを通して、生徒一人一 人の悩みや疑問を把握し、対応する。	面談		アンケ ート						アンケ ート			アンケ ート						継続
	丁寧なミー ティングを 行います	生徒の主体性を尊重しなが ら共通理解を図る教職員	【顧問】 生徒と顧問が対等で建設的な関係でのミー ティングを行う。	ミーテ ィング																	継続	継続

基本方針				取組	実施時期																	
柱	方向性	取組内容	目指す姿	具体的行動【担当者】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	中期	長期				
4 チ ー ム 学 校 で 取 り 組 み ま す	学校の組織 対応力を向 上させます	教師がSOSを出せる 教師集団を作ります	全校体制で意識や取組の方 向性を同じくし、一枚岩の 組織となって取り組む教職 員	【全教職員】 教職員一人一人が声かけを意識して、あら ゆる場面で年齢や経験、学年等の枠を超え て話し合い、意見の言える風土をつくる。	職員会 学年会 いじめ防 止委員会 生徒指導 委員会													→	継続	継続		
		多職種連携を推進しま す	SC・SSW・関係機関等 と迅速、円滑に連携する学 校	【生指】 ケース会議や相談など適宜SC・SSW・ 関係機関等との連携を図る。	ケース会 議														→	継続	継続	
	子どもを育 む地域や関 係機関との 連携を行 います	地域ぐるみで子どもを 見守ります	地域との連携・協働を積極 的に進め、子どもたちの成 長を地域と分かち合う学校	【管理職】 学校運営協議会(コミュニテ ィスクール)、青少年育成市民 会議等により学校の情報を 共有し、地域との協力を進 める。					運営協 議会					運営協 議会			運営協 議会			継続	継続	
		保育所・幼稚園・小中 学校の連携を強化しま す	中学校区における目指す子 ども像の実現に向けた教育 の連携を推進する保幼小 中学校園所	【管理職】【生指】【3年】 小学校との部活・授業見学等 の交流を進めていく。 小学校との入学に係る引継 ぎを充実させる。 市の連携会議等での情報 を教職員で共有する。 保幼小中連携会議を実施 し、情報共有を進めてい く。					連携会 議			授業見 学	部活交 流	連携会 議			連携会 議			継続 体験授 業を 実施	継続 体験授 業を 実施	
	関係機関との連携を図 ります	関係機関との迅速、円滑な 連携を行う学校	【管理職】【生指】 学校のケースについて常に 家庭児童相談室等の関係 機関と連携を図る。	連携															→	継続	継続	
5 子 ど も に 対 す る 体 罰 及 び ハ ラ ス メ ン ト を 根 絶 し ま す	体罰を根絶 します ハラスメントを根絶 します	体罰の禁止を徹底しま す	あらゆる場面での体罰は絶 対に許さず、人権感覚豊 かな指導を行う教職員	【管理職】【研推】 体罰根絶に向けた共通理 解を図る研修を実施す る。	研修									研修						継続	継続	
		部活動におけるパワー ハラスメントを根絶しま す	特に部活動がパワーハラ スメントに陥りやすい環 境であるとの認識を持ち 、体罰は絶対に許さず 、人権感覚豊かな指導 を行う教職員	【管理職】【研推】 特に部活動などの事例を 基に、パワーハラスメン ト根絶に向けた共通理 解を図る研修を実施す る。	研修										研修						継続	継続
		あらゆるハラスメント を根絶します	暴言・ハラスメントも人 権を侵害する行為であり 絶対に許されないもので ある共通認識を持ち、 人権感覚豊かな指導を 行う教職員	【管理職】【研推】 パワーハラスメント根 絶に向けた共通理解を 図る研修を実施する。	研修											研修						継続